

## 区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	令和2年11月1日（日） 14時から16時
会 場	中野区役所 第8～10会議室
テ ー マ	中野区基本構想改定検討素案について
出席者 区 民	計15人
区 側	区長、企画部長、基本構想担当課長、企画部参事（企画担当）
一 時 保 育	有
手 話 通 訳	無

区長あいさつ	
<p>基本構想検討素案についての区民意見交換会は、2月に1回実施した後に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中断していた。この意見交換会は、新型コロナウイルス感染症の影響などを踏まえて基本構想検討素案を改定したので、改めて実施することとしたものである。</p> <p>基本構想は、中野が10年後に目指すまちの姿を描くものである。重視しているのは、少子高齢化対策である。日本全体の人口は減少しているが、中野区は、当面の間は人口は減らないと推計している。しかしながら、現在、0～14歳が区の全人口に占める割合は、23区中で最下位である。子育て家庭が暮らしやすい環境を整えていく必要がある。また、中野区の65歳以上の人口は増加傾向が続き、一方、総人口は2035年をピークに、その後減少すると考えている。これから、3人に1人が高齢者という社会が到来する中で、地域で支えあい、誰もが安心して暮らせるようにしていく必要がある。</p> <p>また、災害対策についても重要だと考えている。区民意識・実態調査においても、防災への要望が高い。震災については、中野区は、狭あい道路や木造住宅密集地域が多いということで、課題だと認識しており、引き続き、計画的に対策に取り組んでいきたい。近年、全国各地で台風等による被害がでている。中野区においても、今後起こりうる災害に向けた対策を着実に進めていく必要がある。</p> <p>今日は、皆さんが普段感じている地域の課題等を踏まえ、10年後にこういう中野になったらいい、ということをお聞かせいただきたい。</p>	
区民の意見・質問	区長の回答等
<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、自宅にいる人が増え、人々の園芸への関心が高まっていると感じる。中野区の公園は、素敵な花壇が少ない。1年を通じた植栽のプランニングは、プロのデザイナーにしてもらい、子どもから高齢者まで市民ボランティアがその花壇を運営していくような仕組みをつくってほしい。地域の人たちのコミュニケーションの場にもなると思う。</p>	<p>現在も、公園の花壇づくりのボランティアを受付しているところである。今後も、公園の花壇などの運営について、区民の皆さんにも行ってもらう取組を進めていきたい。</p>
<p>中野四丁目新北口西地区の再開発について、中野サンプラザの倍ほどの高さの高層マンションが、この狭い土地に建つと聞いている。この土地には思い入れがあると同時に、土地を次世代に渡す責任がある。地権者や周囲の住民の意見を聴いてまちづくりは行っていくべきであるということ、再開発事業の準備組合も、区の担当者も認識してほしい。</p>	<p>再開発事業は、地権者の理解を得ながら進めていくものであり、一方的に進めることがあってはならないと思っている。</p>
<p>この基本構想に描かれているまちの姿の実現に向け、すでに着手していたり、実施することになっているものもあると思う。重要なのは、優先順位や、どのように具体化していくかだ。また、区民にとって、どのようなメリットがあり、一方でどのような痛みをとまうのかをしっかりと明示することが必要だ。基本計画（素案）を作成した際には、そういったことを説明した上で、こうした対話の機会を設けてほしい。</p>	<p>基本計画の中で、具体的な施策内容とともに優先的に取り組むことについても示していきたい。ご指摘のとおり、区民サービスに影響が生じることもあると思っている。施設に関することについては、基本計画と併せて区有施設整備計画を策定していくが、意見交換会も実施する予定なので、丁寧な説明をしていきたい。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>中野駅新北口駅前エリアには、1万人が入るアリーナホールができるとのことだが、区民にとってのメリットはないと感じる。むしろ、区民にとっては、違法駐車や駅が混雑するといったマイナス面が大きいと思う。これは一例だが、基本計画は、中野区民にとって何がメリットとなるのかしっかりと説明できるものとしてほしい。</p>	<p>現在、事業者の募集中であり、大規模なホールを整備することとなった場合、近隣住民の方には迷惑と感じる人もいることは承知している。まちがにぎわい、人がまちに流れて消費をすることが大切だと思っている。5年間建て替えている間に、まちの活力が落ちないようにしたい。新しい施設に、全国から人がきて、まちが良くなったと言ってもらい、区民にも喜んでもらいたい。また、民間活力の活用によって、税金の投入が抑えられるという点もメリットだと思っている。</p>
<p>中野駅新北口駅前エリアのアリーナホールについて、どのくらいの人がまちに流れ、どのくらい消費してくれるのか、どのくらい駅が混雑するのか、そういった細かいところまで分析し、区民にとってのメリット・デメリットを示してほしい。</p>	<p>ご指摘のとおり、データは必要だと思っている。今後、再開発の事業計画の検討を進める中で、事業の内容について丁寧に説明していきたい。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症について、区ホームページに掲載されている情報が少ないと感じる。もっと詳細な情報が掲載されている区もある。区民は、その情報を見ることで、心構えができるようになると思うので、年代別の感染者数や陽性率など、情報をもっと公開してほしい。</p>	<p>23区でも、公開されている情報は差がある。新型コロナウイルス感染症の感染者が出た施設名まで公表している区もあるが、それにより風評被害も起きているようだ。どういう情報を公表したほうがいいのか、しっかりと検討していきたい。</p>
<p>喫緊の区政の課題は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応だと思う。中野区のPCR検査は、医師の判断がないと受けられないと言われた。PCR検査を全区民に実施し、感染者を洗い出し、感染者は療養施設や病院などに入ってもらわなければならないと思う。</p>	<p>中野区は、PCR検査センターを早い段階で整備した。医師に受けた方がいいと判断された方のみ受けられる仕組みである。1週間におよそ200～300件の検査体制である。そうした中で、約30万人いる区民全員が、PCR検査をすぐに受けることは不可能であり、優先順位を付けて検査する必要があると考えている。今後、特別養護老人ホーム等、施設に入るとき必要なPCR検査を受けられる体制を整えていきたい。</p>
<p>中野4丁目新北口地区再開発に関する文章の中で、土地の高度利用とあった。長年居住している人が大勢いる土地の高度利用を進めようとしていることに、憤りを感じている。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて、新しい住まい方が必要とされる中で、過密とならないまちづくりが必要だと思う。また、タワーマンションでは、地域のつながりが失われると思う。</p>	<p>安全・安心で活力のあるまちづくりを進めるため、土地の高度利用を図るものである。ただ、過密な状態を目指しているのではない。大きな建物が建つと同時に、ゆとりをもった歩きやすい空間ができるというメリットがある。民間のマンションは、民間の合意によって建てられるものであるが、区としては、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりを進めていきたい。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>桃園川緑道について、笹が生えていたり、プランターにひび割れがあったり、地面が割れているところが応急処置してあるだけの状態になっているなど、居心地の良い空間になっていない。また、親の介護で、よく車椅子で散歩したが、車止めが車椅子では通りにくく、段差もあり、歩きにくい。そういったことを改善してほしい。</p>	<p>危険な箇所については、適宜補修を行っているところである。桃園川緑道については、改善に向けて検討していきたい。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、GIGAスクール構想を進め、タブレット端末を児童・生徒1人につき1台を配置する予定とのことだが、ICT学習支援員の配置が小学校6人、中学校6人では少ないと思う。教員の負担軽減のためにも、全学校にそれぞれ配置する必要があるのではないかと。</p>	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症対応として在宅学習支援を実施し、その一環としてICT学習支援員を配置した。令和3年度は、ICT機器の利活用支援のため、ヘルプデスクの設置と、学校へのICT支援員の巡回配置を予定している。</p>
<p>区立小中学校の再編について、再編の結果、過密になっている学校もあるので、きちんと検証をして改善してほしい。</p>	<p>区立小中学校によっては、再編したが、計画したときの予想よりも地域の子どもの数が増えているところがあるのは事実である。児童数が少なく、学級数が少ない学校では、教師の数が少なくなるため、さらに教師が多忙になるといった課題もあるので、ある程度の規模の学校である必要があると思っている。</p>
<p>虐待の防止について、具体的にどのような取組を行うのか。</p>	<p>中野区では、来年度に児童相談所を設置する。それにより、児童虐待の対応については、区と都が連携して行ってきたが、区が一貫して子どもや子育て家庭のケアを行っていく。適正な職員配置を行い、子どもや子育て家庭への支援を充実させていきたい。</p>
<p>「社会の変化に対応した質の高い教育を実現します」に、「質の高い教育」と「特色のある教育」とあるが、どのようなものか。</p>	<p>質の高い教育とは、「知、徳、体」の力を高めることにより、児童・生徒に予測困難なこれからの社会を「生き抜く力」を育むことができる教育である。保育園・幼稚園・小学校・中学校の学校間の連携や、学校と地域とのつながりが強いことが、中野区の学校教育の強みである。その強みを活かした中野らしい教育が特色ある教育であると捉えており、特色ある教育を充実させることにより、質の高い教育を実現させていくことができるものと考えている。</p>
<p>小さい子が昆虫などの自然に触れることの公園を、駅周辺に整備してほしい。</p>	<p>そういったニーズがあることは承知している。平和の森公園が新しくなった。生き物も住んでいると思うので、利用してほしい。また、魅力ある公園づくりは継続して進めていきたい。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
子ども食堂について、対象は、どのような家庭か。	区民が運営しているので、どういう対象とは言えない。気軽に来て交流する場となっているところが多いと思う。家庭に事情がある人もそうでない人も来れる場所となっていると感じる。近くのところに参加してほしい。
車や自転車がスピードをだして走っていたり、杭が出ているなど、怖い道路がある。	交通マナーの向上に向けた対策に取り組むとともに、誰もが歩きやすく、安全・安心で住み続けられるまちの構築を目指していく。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、仕事がなくなり、生活が厳しくなった人も多いと思うので、家計への影響を盛り込んでほしい。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響の中にある「地域経済」という言葉に、家計への影響も含まれている。
全国で、台風や豪雨による大きな被害がでている。基本計画の中で、水害対策について、しっかりと盛り込んでほしい。	東京都と連携して進めていきたい。現在、区では浸透枴の整備などを進めてきており、効果もあると考えている。そういった取組を、区民にPRしていきたい。
「東京の新たな活力とにぎわいを世界に発信します」について、現行と表現があまり変わらないように感じるが、具体的にどういったところに力を入れていくのか。	表現については、中野駅周辺まちづくりブランドデザインと整合をはかっている。まちづくりにおいては、様々な都市機能が集積した施設の整備だけでなく、そこでどのような活動を行っていくのが重要であり、その観点からエリアマネジメントについても力を入れていきたい。
中野駅周辺まちづくりの進展で、マンションが増え、人口が激増すると思う。中野駅西口を整備しても、駅に人があふれるのではないか。また、周辺の保育園や学校の需要には対応できるのか。	中野駅西口の整備により、混雑が解消でき、今後、乗降者数が増えたとしても、人があふれることはないと考えている。保育園や学校の需要については、今後、新しく建設されるマンションの戸数などを踏まえて、対応を検討していきたい。
デジタル化を進めるにあたって、区民の意見を取り入れながら進めてほしい。最近、区立図書館のホームページがリニューアルされたが見にくく、使いにくいと感じている。デジタル化する際には、区民モニターを募り、そのモニターから意見を聴き、検証してからサービスを開始してほしい。	設計の段階から利用者の声を聴く必要性は感じている。今後、区のホームページをリニューアルする際などに、そういったことも検討していきたい。
中野駅周辺まちづくりの進展で、マンションが増え、人口が激増すると思う。学校は、足りるのか。	今後、新しく建設されるマンションの戸数などが判明した段階で、教育委員会と対応を協議しながら備えていきたい。